

No.1

球磨郡消防ポンプ操法大会 第2分団第1部(上下染田) 2位で県大会へ



惜しくも連覇は逃したものの、2位で県大会へ出場する第2分団第1部



競技中の選手の顔は真剣そのもの

第31回球磨郡消防ポンプ操法大会は7月29日に相良村総合運動公園で開かれ、郡内の各町村から自動車ポンプの部に3チーム、小型ポンプの部に9チームが出場。自動車ポンプの部に出場した第2分団第1部(上下染田)が2位となり県大会への出場を決めました。

消防操法の技術を高めるために熊本県消防協会球磨支部(松野三千夫支部長)が主催。2年に一度開かれ、各町村の予選を勝ち抜いた代表が終結。自動車ポンプ、小型ポンプの部の上位2チームが県大会に出場できます。

開会式では大会2連覇中の第2分団第1部を代表して、指揮者の椎葉恭介さん(41)↓下染田)が力強く選手宣誓。競技では、惜しくも3連覇達成はなりませんでしたが、機敏な動きを披露し、2位で県大会への出場を決めました。小型ポンプの部に出場した第3分団第3部(野中田)は9位となりました。

県大会は9月2日に山鹿市で開かれる予定です。競技結果は次のとおり。

■競技結果

○ポンプ車の部

①多良木町

②湯前町(椎葉恭介、中金由晴、瀬谷憲功、中田潔裕、椎葉浩樹)

③水上村

○小型ポンプの部

①水上村

②球磨村

③五木村

⑨湯前町(廣田祐哉、堤一矢、東伸豪、苗床貞文)



1 本町消防団員の応援を受けて競技2小型ポンプの部に出場した第3分団第3部



2



Tシャツにも刻まれる「夢現」をテーマに、来年のリベンジを誓う選手たち

No.2

小・中学生全国空手道選手権大会に陽心館が出場 11選手が全国の舞台を経験

文部科学大臣杯第61回小学生・中学生全国空手道選手権大会は8月4、5日に宮城県利府町のセキスイハイムスパークアリーナで開かれ、本町の空手クラブ「陽心館」(藤岡孝史代表)の小・中学生11人が出場し、大舞台での経験を積みました。

都道府県の予選を勝ち抜いた全国の強豪が集う大会で、日本空手協会が主催。11人は4月に行われた熊本県大会で優勝、準優勝を収め、県の代表として出場しました。

団体戦組手では、39チームが出場した小学生・高学年女子に清川真帆さん(湯前小学校5年)植木、石井愛子さん(同)中里2、多良木姫愛来さん(同)上村)、68チームが出場した同・低学年男子に石神悠翔さん(同校4年)古城)、多良木智稀さん(同)上村)、河内聖人さん(多良木小学校4年)多良木町)が挑みました。女子は初戦の長野県代表との試合で、先鋒、中堅が勝利を収め、初戦を突破しますが、2回戦は1勝2敗で敗退。男子も初戦は長野県代表に2勝1敗で勝利し、2回戦は不戦勝、3回戦に進みますが、先鋒、中堅で2敗を喫し、惜しくも敗退しました。

個人戦では、135人が出場した小学3年男子組手で村山匠人さん(湯前小3年)上村)が1、2回戦を突破。藤岡さんが「相手の動きをよく見てカウンターを決めていた。空手を始めて1年とは思えないほど」と話す戦いぶり健闘しました。

全国大会を振り返って、藤岡さんは「結果は出なかったが、自分の技を出せるようにな

るなど、年々試合の内容が良くなっている。あとは『今』というときに技を決められるかどうか。5・6年生の部に5年生だけで出場するなど、経験を積めたことが大きい。来年は、全流派が集まり、オリンピックへつながる全国大会に出場することが目標。これから大きな試合が続いていくので、試合の中で、さらに成長してほしい」と話していました。



団体高学年と個人小学5年組手に出場
多良木 姫愛来さん (湯前小5年=上村)

観客が昨年の倍ほど感じるほど、たくさんの方がいたので、緊張して気持ちが弱くなってしまいました。練習でもっと強い相手と練習をして、心と体を鍛えて来年は優勝したいです。



個人小学3年組手で3回戦に進出した
村山 匠人さん (湯前小3年=上村)

はじめは緊張していましたが、大会では突きなどの今まで練習してきた成果を発揮することができました。練習でけりを鍛えて来年は優勝できるように頑張りたいです。